

平成 22 年度
知床世界自然遺産地域における
保全・共生推進のための資料収集及び情報提供業務
報告書

平成 23 年 3 月

環境省 釧路自然環境事務所
特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所

目次

第1章 業務概要.....	1
1-1 業務目的.....	1
1-2 業務内容.....	1
(1) ホームページの維持管理.....	1
(2) メーリングリストの維持管理.....	1
1-3 打合せ等.....	1
1-4 履行期限.....	2
1-5 成果品.....	2
第2章 業務結果.....	3
2-1 ホームページの維持管理.....	3
(1) 会議資料の更新追加.....	4
(2) 年次報告書資料の更新追加.....	6
(3) 報告書資料の更新追加.....	7
(4) 計画と法律資料の更新追加.....	11
(5) 報道発表資料の更新追加.....	12
(6) 啓発資料の更新追加および削除.....	14
(7) その他の更新追加・修正など.....	15
2-2 メーリングリストの管理.....	18
(1) 各委員会のメンバー更新.....	18

*本報告書は資源有効利用のため、グリーン購入法総合評価値 87 の再生紙を使用しています。

第 1 章 業務概要

1-1 業務目的

平成 17 年 7 月に知床が世界自然遺産として登録された。知床では、「知床世界自然遺産地域科学委員会」での科学的な立場からの検討や陸海域での様々な調査等が実施されている。こうした様々な取り組みによって得られた知見や研究成果等に加え、資料や文献等既存の様々な科学的・人文的資料の中から、知床が有する世界的に顕著な普遍的価値の保全と適正な利用を図るために科学委員会委員、研究者、関係行政機関等で広く共有すべき資料や文献、研究成果等（以下「資料等」という）を管理・提供するため、平成 18 年度より、知床データセンターが運用されている。

本業務は、知床データセンターの維持管理を行うものである。

1-2 業務内容

(1) ホームページの維持管理

平成 17～21 年度に作成した知床データセンターのサーバを維持するとともに、会議資料や報告書の知床データセンターへの掲載など必要な更新作業を行う（年 25 回程度の更新作業）。

(2) メーリングリストの維持管理

知床世界自然遺産科学委員会及び各ワーキンググループ、アドバイザー会議のメーリングリスト（計 5 つのメーリングリスト）および知床世界自然遺産科学者アドバイザーネットワークのメーリングリストのメンバーの追加・削除（大幅なメンバー入れ替えは 4 月と 10 月の 2 回）、システムトラブルの対応等の運営を行う。

1-3 打合せ等

本業務を適正かつ円滑に実施するため、管理技術者と環境省担当官は常に密接な連絡をとり、業務の方針及び条件等の疑義を正すものとする。

1-4 履行期限

平成22年4月1日より平成23年3月31日まで

1-5 成果品

報告書（収集・整理した資料等と出力図含む）A4縦サイズ…………… 5部
報告書の電子データを収納した電子媒体（CD-ROM）…………… 5式

第2章 業務結果

2-1 ホームページの維持管理

科学委員会、ワーキンググループおよび利用適正化検討会議の平成22年度分の会議資料（会議次第、各種資料、および議事録）の追加・更新を行った。また、報道機関への発表資料、各種パンフレットなどの啓発資料、報告書などの追加・更新も行った。その他に、文章や文言の修正、リンク先の修正、新規ページの作成等も行った。

追加・更新を行った際は、その内容をデータセンターのお知らせ一覧ページ（図2-1）に随時掲載していった。

追加・更新およびそれに付随するホームページの維持管理作業は合計110回行った（詳細は表2-1を参照）。



図 2-1 データセンターのお知らせ一覧ページ

表 2-1 追加・更新作業回数の内訳

区分	回数
会議資料	54
報道機関への発表資料	24
啓発資料	3
報告書	23
その他	6
合計	110

(1) 会議資料の更新追加

追加更新した会議資料は以下のとおり。表 2-2 には収録した各資料の一覧を示した。各資料を掲載したページ（一部）を図 2-2 に示した。

表 2-2 資料を収録した会議一覧

名称	会議名	開催日
科学委員会	平成 22 年度第 1 回	2010 年 7 月 24 日
	平成 22 年度第 2 回	2011 年 2 月 24 日
エゾシカ・陸上生態系 WG	平成 22 年度第 1 回	2010 年 5 月 29 日
	平成 22 年度第 2 回	2010 年 10 月 21 日
	平成 22 年度第 3 回	2011 年 3 月 15 日
海域 WG	平成 22 年度第 1 回	2011 年 2 月 22 日
ヒグマ保護管理方針検討会議	平成 22 年度第 1 回	2010 年 6 月 20 日
	平成 22 年度第 2 回	2010 年 11 月 9 日
	平成 22 年度第 3 回	2011 年 1 月 24 日
地域連絡会議	平成 22 年度第 1 回	2010 年 7 月 28 日
	平成 22 年度第 2 回	2010 年 3 月 18 日
適正利用・エコツーリズム	平成 22 年度第 1 回	2010 年 6 月 22 日
	平成 22 年度第 2 回	2010 年 11 月 8 日
	平成 22 年度第 3 回	2011 年 3 月 10 日
生態系調査報告会	平成 22 年度	2011 年 2 月 23 日
知床五湖の利用のあり方協議会	第 9 回	2010 年 4 月 26 日
	第 10 回	2010 年 6 月 8 日
	第 11 回	2010 年 7 月 9 日
	第 12 回	2010 年 8 月 23 日
	第 13 回	2010 年 9 月 16 日
	第 14 回	2010 年 9 月 28 日
ウトロ海域利用検討会	第 1 回	2010 年 7 月 26 日
	講演会	知床世界自然遺産登録 5 周年記念シンポジウム
講演会	知床世界自然遺産登録 5 周年記念シンポジウム	2010 年 6 月 12 日
	公開セミナー 「知床のシカはコントロールできるのか？」	2010 年 6 月 13 日
検討会	第 1 回	2010 年 7 月 21 日
	第 1 回	2010 年 11 月 17 日

The screenshot shows the website for the Shimetoko Data Center, specifically the agenda for the 2022 World Heritage Scientific Committee meeting. The page is titled '平成22年度第2回 議事次第' (Agenda for the 2022 World Heritage Scientific Committee Meeting). The main content is a list of agenda items, each with a corresponding document link. A red box highlights the '資料一覧' (List of Materials) section, which includes items such as '議事次第', '出席者名簿', and various reports and documents related to the meeting. A red arrow points to this section with the text 'ここに資料を掲載' (Post materials here).

知床データセンター
Shimetoko Data Center

ホーム | 知床世界遺産センター | 知床の概要 | 計画と法律 | 調査研究 | 会議資料 | 知床資料 | 普及資料 | フォトギャラリー | ツール

ホーム > 会議資料 > 知床世界自然遺産第2回科学委員会 > 平成22年度第2回 議事次第

議事次第

場所: 札幌市教育文化会館 研修室403
日時: 平成22年2月24日 (木) 13:00~17:00
出席者名簿: [一覧](#)

(1) 科学委員会等の検討体制について
(2) 各ワーキンググループ等の検討状況について
(3) 平成21年度知床世界自然遺産地域年次報告書について
(4) モニタリング計画の策定について
(5) 世界遺産委員会等からの勧告への対応と定期報告について
(6) 科学委員会等の今後の予定について
(7) その他

資料一覧

- 議事次第 [\(PDF:35KB\)](#)
- 出席者名簿 [\(PDF:17KB\)](#)
- 議題1: 各ワーキンググループ及びアドバイザー会議等の検討状況について
資料1-1: [各ワーキンググループ及びアドバイザー会議等の検討経過について](#) [\(PDF:15KB\)](#)
- 資料1-2: [エンカノ上野地区ワーキンググループの経過報告-今後の予定](#) [\(PDF:17KB\)](#)
- 参考資料: [知床神楽\(知床\)](#) [\(PDF:204KB\)](#)
- 参考資料: [ルツ川河口付近におけるSS堆積地帯と周辺の設置地点](#) [\(PDF:52KB\)](#)
- 資料1-3: [湧水ワーキンググループの経過報告-今後の予定](#) [\(PDF:11KB\)](#)
- 参考資料: [SS\(砂\)堆積物計測定期報告書の概要](#) [\(PDF:52KB\)](#)
- 資料1-4: [道川工務アドバイザー会議の経過報告-今後の予定](#) [\(PDF:100KB\)](#)
- 資料1-5: [道川工務アドバイザー会議\(設置要領\)](#) [\(PDF:70KB\)](#)
- 資料1-6: [道利用・エコツーリズムワーキンググループの検討結果と今後の検討等](#) [\(PDF:14KB\)](#)
- 資料1-7: [ヒグマ保護管理方針検討会議の経過報告-今後の予定](#) [\(PDF:12KB\)](#)
- 議題2: 第36回 世界自然遺産委員会に向けた対応について
資料2-1: [第36回 遺産委員会に向けた対応について](#) [\(PDF:19KB\)](#)
- 資料2-2: [顕著な普遍的価値の普及と継承\(知床世界自然遺産地域\)](#) [\(PDF:15KB\)](#)
- 参考資料: [SUNSHINE \(Shimada\)](#) [\(PDF:150KB\)](#)
- 資料2-3: [平成20年2月 ユネスコ/ICRIM現地調査報告書の勧告への対応について](#) [\(PDF:22KB\)](#)
- 別紙: [知床五湖における取組み](#) [\(PDF:30KB\)](#)
- 参考資料: [平成20年2月 ユネスコ/ICRIM現地調査報告書の勧告への対応の光景一覧](#) [\(PDF:12KB\)](#)
- 資料2-4: [知床世界自然遺産地域の保全状況に関する調査報告書\(別紙\)](#) [\(PDF:41KB\)](#)
- 資料2-5: [知床世界自然遺産地域の定期報告\(別紙\)](#) [\(PDF:39KB\)](#)
- 議題3: 気候変動への対応方針について
資料3-1: [気候変動の影響への対応方針について](#) [\(PDF:13KB\)](#)
- 資料3-2: [世界自然遺産地域の森林生態系における気候変動の影響のモニタリング等事業](#) [\(PDF:151KB\)](#)
- 議題4: モニタリング計画の策定について
資料4-1: [モニタリング計画の策定について](#) [\(PDF:19KB\)](#)
- 資料4-2: [知床世界自然遺産地域モニタリング計画\(骨子案\)](#) [\(PDF:25KB\)](#)
- 別紙1: [没収分組\(モニタリング項目の採集種別等\)](#) [\(PDF:18KB\)](#)
- 別紙2: [採集種別\(モニタリング項目の採集種別と採集基準\)](#) [\(PDF:21KB\)](#)
- 別紙3: [調査予定\(調査地・林野庁・北海道が実施するモニタリング調査\(予定\)\)](#) [\(PDF:15KB\)](#)
- 参考資料: [採集項目別のモニタリング調査一覧](#) [\(PDF:15KB\)](#)
- 参考資料: [長期のモニタリングを実施する際に参照すべき過去の報告書等](#) [\(PDF:13KB\)](#)
- 資料4-3: [モニタリング項目に関する変更点について](#) [\(PDF:14KB\)](#)
- 議題5: 自然環境地域生態系保全プログラムについて
資料5: [自然環境地域生態系保全プログラムについて](#) [\(PDF:19KB\)](#)
- 参考資料: [自然環境地域における協力プログラム](#) [\(PDF:207KB\)](#)
- 議題6: 科学委員会等の今後の予定について
資料6: [平成22年度科学委員会等の日程と主要議題\(予定\)](#) [\(PDF:29KB\)](#)
- 議題7: その他
資料7-1: [UNESCO World Heritage Marine Site Managers Meeting 概要報告\(未定稿\)](#) [\(PDF:17KB\)](#)
- 資料7-2: [Agenda](#) [\(PDF:28KB\)](#)
- 資料7-3: [List of Participants](#) [\(PDF:167KB\)](#)
- 資料7-4: [Meeting Concept Note](#) [\(PDF:365KB\)](#)
- 参考資料: [オホーツク圏とその周辺の地域の環境保全にむけた研究者による共同声明](#) [\(PDF:137KB\)](#)
- 参考資料2: [平成22年度資源評価\(サイエンス\)](#) [\(PDF:175MB\)](#)
- 参考資料3: [わが国と資源地帯に関する検討](#) [\(PDF:66KB\)](#)
- 参考資料4: [知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類増殖効果調査\(調査報告書\)](#) [\(PDF:208KB\)](#)
- 参考資料5: [知床神楽エンカノ原野作業\(自主採集\)実施結果および定期的な協会評価\(一部資料\)](#) [\(PDF:25KB\)](#)
- 参考資料6: [夏期におけるエンカノ原野調査結果\(2020年度調査結果概要\)](#) [\(PDF:183KB\)](#)
- 参考資料7: [知床神楽における経路網による植生回復経路の検証とエンカノ原野調査結果の検証](#) [\(PDF:17KB\)](#)
- 参考資料8: [知床世界自然遺産地域道利用・エコツーリズム検討会議の設置について](#) [\(PDF:12KB\)](#)
- 参考資料9: [知床半島水産資源調査計画案](#) [\(PDF:12KB\)](#)
- 参考資料10: [特別保護地域\(PAS\)における外航船舶の航行誘導](#) [\(PDF:531KB\)](#)

PDFファイルを開くには、Adobe Reader (Acrobat Reader) のインストールが必要となります。お手持のパソコンにインストールされていない場合は、[こちら](#)からダウンロードしていただき、[インストールガイド](#)に従ってインストールしてください。

このページの先へ

リンク | サイト利用上の注意 | プライバシーポリシー

Copyright © 2008 環境省
このサイト内の複製・転載等の権利はすべて環境省に帰属します。無断複製を禁じます。

図 2-2 会議資料掲載ページ(科学委員会)

(2) 年次報告書資料の更新追加

追加更新した年次報告書資料は以下のとおり。表 2-3 には収録した資料の一覧を示した。資料を掲載したページを図 2-3 に示した。

表 2-3 収録した年次報告書資料一覧

名称	年度
知床世界自然遺産地域年次報告書	平成 21 年度



図 2-3 年次報告書掲載ページ

(3) 報告書資料の更新追加

追加更新した報告書資料は以下のとおり。表 2-4 には収録した報告書資料の一覧を示した。報告書資料を掲載したページを図 2-4 に示した。

表 2-4 収録した報告書資料一覧 1/3

番号	年度	調査・業務名	概要	調査・業務年	発注者
1	H21	知床世界自然遺産地域における保全・共生推進のための資料収集及び情報提供業務	平成 17 年 7 月に知床が世界自然遺産として登録された。知床では、「知床世界自然遺産地域科学委員会」での科学的な立場からの検討や「知床国立公園利用適正化検討会議」での適正な利用に関する検討、陸海域での様々な調査等が実施されている。こうした様々な取り組みによって得られた知見や研究成果等に加え、資料や文献等既存の様々な科学的・人文的資料の中から、知床が有する世界的に顕著な普遍的価値の保全と適正な利用を図るために各検討委員会、研究者、関係行政機関等で広く共有すべき資料や文献、研究成果等(以下「資料等」という)を管理・提供するため、平成 18 年度より、知床データセンターが運用されている。本業務は、知床データセンターの維持管理を行うものである。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所
2	H21	(冬期)知床岬エゾシカ密度操作実験業務報告書	エゾシカ(以下シカ)の高密度状態が続く知床半島では、シカの採食圧が在来植生に不可逆的な影響をもたらすことが危惧されている。同半島における主要なシカ越冬地である知床岬地区では、在来植生の保護に早急な対策を必要とし、かつ過去からのシカ植生関係の資料がそろっている。本事業では、この地区においてシカの実験的な個体数調整を行い、植生への影響を軽減することが目的である。具体的には、平成 19 年度から 21 年度まで(H19 年 11 月～H22 年 5 月)の 3 越冬期にメス成獣を中心とした捕獲を行い、シカの越冬数を捕獲前(H18 年度越冬期)の半数以下に削減することを目標とする。今期は厳冬期の捕獲最適期(1 月～2 月)において、アプローチにリコプターを用いた捕獲を行うとともに、過去 2 年間の結果を踏まえ効果的な捕獲手法を検討する。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所
3	H21	エゾシカ航空カウント、季節移動調査業務報告書	近年の知床半島における高密度化したエゾシカによる採食圧は、知床世界自然遺産地域の自然環境に様々な影響を及ぼしている。そのため環境省は、主要越冬地の一つである知床岬地区において、エゾシカ密度操作実験を平成 19 年度(2007 年度)から実施中である。知床岬が上記実験の実施場所に選ばれた理由の一つは、平成 9 年(1997 年)から航空機を用いたエゾシカ越冬個体数調査が、継続的に実施されてきたためである。これまでの捕獲効果を検証するためには、平成 21 年度の越冬個体数調査が不可欠であった。一方、ルサー相泊地区は知床岬と同様、主要越冬地の一つとして知られていたが、同地区で越冬するシカの季節移動状況に関する知見は無かった。そこで麻醉銃を用いたメス成獣の生体捕獲、耳標・電波発信機の装着を平成 20 年度に実施し、本年度はそれら個体の追跡調査を実施した。なお本調査は、H21 シカ年度(平成 21 年 6 月～平成 22 年 5 月)知床半島エゾシカ保護管理計画実行計画の中に位置づけられている。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所
4	H21	日露隣接地域生態系データベース作成検討業務報告書	平成 17 年に世界自然遺産に登録された知床の生態系を適正に保全していくためには、日露両国の協力により、同地域と密接につながりのあるオホーツク海や、同一の流氷南限域の生態系である北方四島及びウルップ島を含む隣接地域における生態系について把握することが重要であり、平成 21 年 5 月に日露両国間において署名された「日露生態系保全協力プログラム」では、我が国はロシアと協力し、日露隣接地域における生態系に関する調査を行い、共同統一データベースを作成することとされたところである。このため、本業務では、「日露生態系保全協力プログラム」に基づき、これまで実施された日露隣接地域における生態系に関する調査成果に基づき、同地域の生態系に関する共同統一データベースの構築について、試案の検討を行う。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所
5	H21	グリーンワーカー事業「知床半島におけるエゾシカの植生への影響調査業務」報告書	知床半島では、1980 年代よりエゾシカが急速に増加している。高密度のエゾシカによる採食圧は、知床世界自然遺産地域の自然環境に様々な影響をもたらしており、エゾシカの高密度状態がさらに長期化する場合、希少植物種の絶滅、高山植生への影響、急傾斜地の土壌浸食等が懸念されている。エゾシカの採食圧等による在来植生への影響について、知床半島の一部地域に関しては、植生変化の危機的状況が認識されているが、知床半島全体が網羅的に把握されておらず、必ずしも十分な状況とは言えない。また、土壌浸食の実態についてもその定量的な把握が必要とされている。本業務では、知床岬地区の植生保護圏内外の植生調査を行うとともに、当該地区周辺の土壌浸食の状況を把握し、2006 年以降不明である遠音別岳のエゾシカによるシレットコスミレの被食の有無を明らかにすることを目的とする。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所

表 2-4 収録した報告書資料一覧 2/3

番号	年度	調査・業務名	概要	調査・業務年	発注者
6	H21	エゾシカ保護管理計画 実行計画策定業務報告書	本業務では、平成 20 年度までの知床世界自然遺産地域科学委員会会議及びエゾシカワーキンググループ会議での議論や当該地域で実施されているエゾシカに関する調査等を踏まえて、エゾシカワーキンググループ会議の運営や学識経験者への意見聴取等を行うことにより、平成 21 年度(H21 シカ年度)知床半島エゾシカ保護管理計画実行計画案の作成を行うとともに、平成 22 年度(H22 シカ年度)知床半島エゾシカ保護管理計画実行計画案の策定方針を立てることを目的としている。なお本業務は、成 16 年度から開始され今年度が 6 年目である。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所
7	H21	知床世界自然遺産地域科学委員会運営業務報告書	平成 17 年 7 月 17 日に世界自然遺産へ登録された知床では、平成 16 年度に専門家からなる知床世界自然遺産候補地科学委員会(現、知床世界自然遺産地域科学委員会)が設置されている。本科学委員会では、ワーキンググループにおける懸案事項や、「知床世界遺産地域管理計画」や「長期的に実施すべきモニタリング調査」などワーキンググループを跨り議論すべき事項について検討するとともに、知床で実施されている各種事業および調査についても助言する立場を担っている。 本業務は、平成 20 年度までの科学委員会会議、エゾシカワーキンググループ会議、海域ワーキンググループ会議、及び河川工作物アドバイザー会議での議論、当該地域で実施されている事業や調査を踏まえ、平成 21 年度の科学委員会会議を運営した。また、科学委員会で議論されている内容、及び各種調査の実施状況などを科学委員会の委員より地元住民に対して報告することにより、知床世界自然遺産地域の管理に対する理解をより深めてもらうことを目的とした地元説明会の運営を行った。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所
8	H21	知床半島沿岸域における海洋観測ブイを用いた海洋観測等に係る業務	知床は、北半球で最も低緯度に位置する季節流水域であり、海洋生態系と陸上生態系の相互関係の顕著な見本であるとともに、世界的に希少な鳥類を始めとする多くの動植物の生息・生育にとって重要な地域である。 本地域沿岸における水温、塩分、クロロフィル等の基礎的環境データを継続的に収集することは、海洋環境変動の評価、海域における各種研究及び管理、サケマス研究などの水産資源管理に資するものであり、知床世界自然遺産地域の海域管理計画に位置付けられた各種施策や、海域と密接な関係を持つ陸域の森林管理や持続的な資源利用等を実施していく上で重要な基礎データとなる。 そのため、本業務は平成 18 年度および平成 19 年度に整備した海洋観測ブイ 2 基を用いて海洋観測等を行うものである。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所
9	H21	平成 21(2009)年度ルサ相泊地区エゾシカ捕獲手法検討調査業務報告書	近年の知床半島における高密度化したエゾシカによる採食圧は、知床世界自然遺産地域の自然環境に様々な影響を及ぼしている。そのため環境省は、知床世界自然遺産地域科学委員会での議論を受けて、主要越冬地の一つである知床岬地区において、エゾシカ密度操作実験を実施中である。さらに同委員会エゾシカワーキンググループの平成 21 年度第 2 回会議では、知床岬における繰り返し捕獲による捕獲効率低下を踏まえ、囲いわなを用いた大量捕獲や、餌付けや爆音機を併用して少数誘引個体の頭頸部を狙撃して全滅させる捕獲手法(シャープシューティング)等を検討し、試行することが合意された。 本業務は、エゾシカ密度操作実験の実施候補地の一つとなっているルサ相泊地区において、捕獲効率の低下を招かないような捕獲手法を予備的に検討調査したものである。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所
10	H20	平成 20 年度国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業(シマフクロウに脅威となるアライグマの侵入状況調査業務)報告書	知床半島基部の斜里町管内(本町から幌別・岩尾別地区まで)及び羅臼町管内(峯浜から岬町まで)において、アライグマの生息状況を把握するとともに、自動撮影カメラによる侵入状況調査および農業等被害調査を実施することにより、知床におけるシマフクロウ保護のためのアライグマ防除対策の検討を目的とした。	2008 年	環境省 釧路自然環境事務所
11	H21	平成 21 年度国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業(シマフクロウに脅威となるアライグマの侵入状況調査業務)報告書	知床半島基部において、アライグマの生息状況を把握するために、自動撮影カメラによる侵入状況調査、および農業等被害調査を実施し、また、知床におけるシマフクロウ保護のためのアライグマ防除対策の検討を目的とした。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所
12	H21	国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業「知床半島海岸ゴミ回収業務」報告書	知床半島沿岸部の風致景観を著しく損なっている海岸漂着ゴミについて、状況調査、回収、効果的な回収手法の検討などを実施したものの、状況調査は、知床国立公園内の全ての海岸線を対象とし、漂着ゴミの量や内容などを調査した。海岸ゴミの回収は、赤岩～知床岬地区とルシャ地区の 2 箇所を対象とし、2 地区合計で 38.73 トンを回収した。その他、本業務では検討会及び地元報告会を開催している。	2009 年	環境省 釧路自然環境事務所

表 2-4 収録した報告書資料一覧 3/3

番号	年度	調査・業務名	概要	調査・業務年	発注者
13	H21	国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業「知床国立公園羅臼地区における環境教育業務」報告書	羅臼町では、ヒグマなどの野生動物と住民の間の軋轢が日常的な課題となっている一方、知床が世界自然遺産に登録されたことを契機に、身の回りの自然や野生動物に関心をもつ住民も増えている。 本業務では、自然環境保全や野生動物の保護管理の重要性についての住民の理解の深化、さらには世界自然遺産としての価値を後世に引き継いでいく意識の高揚を目的とし、知床の自然環境などについて平易に解説する複数回の講座を、地域住民を対象に開催した。	2009年	環境省 釧路自然環境事務所
14	H21	国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業「知床国立公園及びその周辺部セイウオオマルハナバチ生息状況監視・防除体制構築業務」報告書	セイウオオマルハナバチとは、外来生物法(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)に基づく特定外来生物に指定されている昆虫である。 本業務では、知床国立公園への進入/定着/生息域拡大の阻止、ならびに知床岬地区からの完全排除を目的とした生息状況監視及び防除の他、講習会を通じた防除体制構築を行った。うち、知床岬地区では40頭(女王バチ5頭を含む)を捕獲したが、営巣地の確認には至らなかった。	2009年	環境省 釧路自然環境事務所
15	H21	平成21年度 羅臼岳登山道携帯トイレ用ブース導入検討調査業務報告書	知床世界自然遺産地域の中央部に位置する知床連山では登山道沿いで尿の問題が顕在化している。本調査は、知床連山において一定期間に携帯トイレブースを試験的に設置し、その利用状況や利用者の意識について調査を実施し、携帯トイレブースの設置及び管理について計画案を策定するものである。	2009年	環境省 釧路自然環境事務所
16	H21	平成21年度 知床国立公園利用適正化検討調査報告書	本調査業務は、知床五湖を中心として、知床連山、羅臼湖、カムイワッカなどの知床半島中央部地区、及び、知床半島先端部地区において「利用適正化基本計画」の具体化を進め、関係者の合意形成を図りつつ、ルール作成、ルールの周知、利用実態・利用影響のモニタリング等を行うものである。	2009年	環境省 釧路自然環境事務所
17	H21	平成21年度 知床国立公園ウトロ海域における適正利用検討業務報告書	本業務では、ケイマフリ等海鳥の保護と持続可能な海域利用の両立をはかるため、海域の利用状況や過去の海鳥の調査結果の検証を行った上で、観光船等に求められる環境保全措置のあり方と、必要なモニタリングのあり方について検討するため、海域利用関係者(事業者等)と関係行政機関に加え、海鳥等に関する学識経験者の参画した検討会を開催した。	2009年	環境省 釧路自然環境事務所
18	H22	平成22(2010)年度 ルサ相泊地区エゾシカ捕獲手法検討調査業務報告書	本業務は、エゾシカ密度操作実験の実施候補地の一つとなっているルサ相泊地区において、捕獲効率の低下を招かないような捕獲手法を、平成21年度末に引き続き検討調査したものである。	2010年	環境省 釧路自然環境事務所
19	H22	平成22年度 知床半島における効果的なエゾシカ捕獲のための研修業務報告書	本業務は、海外におけるシカ管理の専門家を講師とするセミナーを開催し、知床半島で行われているエゾシカ捕獲手法に対する助言をいただくとともに、エゾシカ保護管理に携わる行政機関や猟友会への啓発を目的とする。	2010年	環境省 釧路自然環境事務所
20	H22	知床世界自然遺産登録5周年記念シンポジウム運営業務	知床の世界自然遺産登録5周年を記念したシンポジウム等の運営を行ったもの。首都圏の会場で2日間にわたり開催し、シンポジウムには276名が参加。その他、パネル展には、家族連れなど多くの方が訪れた。	2010年	環境省 釧路自然環境事務所
21	H22	国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業「知床海岸ゴミ堆積状況等調査業務」報告書	知床国立公園内の一部の海岸線での場所ごとの漂着ゴミの再漂着の違いを把握するとともに、植生回復状況を調査し、今後の回収方法検討への情報収集を行う。また、漂着ゴミの多くが流木であることから、流木を回収した場合の有効活用の方角を検討することにより回収の可能性を調査する。	2010年	環境省 釧路自然環境事務所
22	H22	国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業「知床世界遺産地域における利用の適正化と野生動物との共生推進業務」報告書	本事業は、ヒグマに関する安全対策の検討・実施、自然保護上重要な地域への立ち入り状況調査等を通じて、知床国立公園および国指定知床鳥獣保護区における利用の適正化と野生動物との共生を推進することを目的とする。	2010年	環境省 釧路自然環境事務所



ここに資料を掲載

図 2-4 報告書資料掲載ページ(平成 21 年度報告書用)

(4) 計画と法律資料の更新追加

追加更新した計画と法律資料は以下のとおり。表 2-5 には収録した計画と法律資料の一覧を示した。計画と法律資料を掲載したページを図 2-5 に示した。

表 2-5 収録した計画と法律資料一覧

番号	資料名	掲載先
1	Management Plan for the Shiretoko World Natural Heritage Site	知床世界遺産管理計画
2	知床五湖利用調整地区 利用適正化計画(案)	知床世界遺産管理計画



図 2-5 計画と法律資料掲載ページ

(5) 報道発表資料の更新追加

追加更新した報道発表資料は以下のとおり。表 2-6 には収録した報道発表資料の一覧を示した。資料を掲載したページを図 2-6 に示した。

表 2-6 収録した報道発表資料一覧

番号	報道発表資料名
1	知床岬エゾシカ密度操作実験について(平成 22 年 4 月 11 日実施)
2	第 9 回「知床五湖の利用のあり方協議会」会合の開催について
3	「知床五湖利用調整地区 利用適正化計画(案)」に対する意見公募について
4	平成 22 年度知床世界自然遺産地域科学委員会 第 1 回エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループの開催について(お知らせ)
5	知床世界自然遺産シンボルマークの運用規定について(お知らせ)
6	平成 22 年度 第一回 知床世界自然遺産地域 ヒグマ保護管理方針検討会議(仮称)の開催について(お知らせ)
7	平成 22 年度 第一回 知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議の開催について(お知らせ)
8	野生動物管理の担い手育成に係る国際シンポジウム等の開催について(お知らせ)
9	平成 22 年度 第 1 回知床世界自然遺産地域科学委員会の開催について(お知らせ)
10	平成 22 年度 第 1 回知床世界自然遺産地域連絡会議の開催について(お知らせ)
11	「平成 22 年度 知床国立公園内ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会(第 1 回)」の開催について
12	知床世界自然遺産シンボルマークの使用状況について(お知らせ)
13	平成 22 年度知床世界自然遺産地域科学委員会 第 2 回エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループの開催について(お知らせ)
14	平成 22 年度 第 2 回知床世界自然遺産地域科学委員会 ヒグマ保護管理方針検討会議の開催について(お知らせ)
15	平成 22 年度 第 2 回知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議の開催について(お知らせ)
16	ルサ相泊地区におけるシャープシューティングの試行によるエゾシカ捕獲の実施について(お知らせ)
17	(お知らせ)ルサ相泊地区におけるシャープシューティングの試行によるエゾシカ捕獲について(平成 22 年 12 月 10 日 実施結果)
18	(お知らせ)ルサ相泊地区におけるシャープシューティングの試行によるエゾシカ捕獲について(平成 22 年 12 月 実施結果)
19	知床岬およびルサ相泊地区におけるエゾシカ捕獲の実施について(お知らせ)
20	平成 22 年度 第 3 回知床世界自然遺産地域科学委員会 ヒグマ保護管理方針検討会議の開催について(お知らせ)
21	ルサ相泊地区におけるシャープシューティング及び囲いわなの試行によるエゾシカ捕獲実施時の取材について(お知らせ)
22	(お知らせ)知床世界自然遺産の保全管理に関する住民説明会の開催について
23	平成 22 年度第 2 回知床世界自然遺産地域科学委員会の開催について(お知らせ)
24	平成 22 年度知床世界自然遺産生態系調査報告会について(お知らせ)
25	知床岬におけるエゾシカの捕獲について(平成 23 年 2 月 16 日～20 日 実施結果)
26	ルサ相泊地区におけるエゾシカ捕獲の試行について(平成 23 年 2 月 実施結果)
27	平成 22 年度第 3 回エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループの開催について(お知らせ)
28	平成 22 年度第 2 回知床世界自然遺産地域連絡会議の開催について(お知らせ)

ここに2010年度の資料を掲載

ここに2010年度の資料を掲載

ここに2010年度の資料を掲載

- 平成22年度 知床国立公園ウトロ遺跡における海鳥の保護と持続可能な漁獲利用検討会(第1回)の開催について (PDF:24KB)
- 2010年7月16日 / 釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道
平成22年度 第1回知床世界自然遺産地域科学委員会開催について(お知らせ) (PDF:8KB)
- 2010年7月16日 / 釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道
平成22年度 第1回知床世界自然遺産地域科学委員会開催について(お知らせ) (PDF:8KB)
- 2010年7月16日 / 釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道
平成22年度 第1回知床世界自然遺産地域科学委員会開催について(お知らせ) (PDF:11KB)
- 2010年7月8日 / (東京シンポジウム)東京農工大学 (北海道シンポジウム)北海道大学、館学農学大学、エゾカキネットワーク
北海道、北海道立総合研究機構環境科学センター、環境省北海道地方環境事務所
野生動物管理の根拠に基づいた国際シンポジウム等の開催について(お知らせ) (PDF:18KB)
- 2010年6月15日 / 知床世界自然遺産地域科学委員会事務局、釧路自然環境事務所、林野庁、北海道
平成22年度 第1回知床世界自然遺産地域科学委員会・エゾカキネットワーク検討会開催について(お知らせ) (PDF:8KB)
- 2010年6月15日 / 知床世界自然遺産地域科学委員会事務局、釧路自然環境事務所
平成22年度 第1回知床世界自然遺産地域科学委員会・エゾカキネットワーク検討会開催について(お知らせ) (PDF:8KB)
- 2010年6月10日 / 環境省、林野庁、北海道、釧路市、釧路町
知床世界自然遺産シンポジウム2の運用規定について(お知らせ) (PDF:11KB)
- 添付資料:知床世界自然遺産シンポジウム2運用規定 (PDF:25KB)
- 添付資料:知床世界自然遺産シンポジウム2使用申請書 (PDF:8KB)
- 添付資料:知床世界自然遺産シンポジウム2アンケート (PDF:20KB)
- 2010年5月21日 / 知床世界自然遺産地域科学委員会事務局、釧路自然環境事務所
知床シンポジウム2上生動物ワーキンググループの開催について(お知らせ) (PDF:8KB)
- エゾカキ上生動物ワーキンググループについて(お知らせ) (PDF:11KB)
- 2010年4月27日 / フトロ自然保護官事務所、北海道オホーツク総合振興局環境生活課、斜里町環境保全課
知床五湖利用調整地区 利用調整(計画案)に対する意見公募について(お知らせ) (PDF:174KB)
- 2010年4月22日 / フトロ自然保護官事務所、北海道オホーツク総合振興局環境生活課、斜里町環境保全課
知床五湖の利用のあり方協議会(第3回)の開催について(お知らせ) (PDF:70KB)
- 2010年4月12日 / 釧路自然環境事務所
知床シンポジウム2開催作業計画について(平成22年4月12日実施結果)(お知らせ) (PDF:8KB)
- 知床シンポジウム2開催作業計画について(平成22年4月11日実施結果)(お知らせ) (PDF:8KB)
- 2010年4月8日 / 釧路自然環境事務所
知床シンポジウム2開催作業計画について(平成22年4月11日実施結果)(お知らせ) (PDF:8KB)

2009年度

- 2010年3月26日 / 釧路自然環境事務所
知床シンポジウム2開催作業計画について(平成22年3月26日実施結果)(お知らせ) (PDF:8KB)
- 2010年3月26日 / 釧路自然環境事務所
知床シンポジウム2開催作業計画について(お知らせ) (PDF:8KB)
- 2010年3月16日 / 釧路自然環境事務所
知床国立公園における公園計画の変更案に関する意見募集(パブリックコメント)について (PDF:12KB)
- 2010年3月10日 / 釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道
平成22年度 第2回知床世界自然遺産地域科学委員会開催について(お知らせ) (PDF:8KB)
- 2010年3月16日 / 釧路自然環境事務所
知床国立公園の保護と利用に関する意見交換会
知床半島海岸保全3回定期会に関するお知らせ(開催について(お知らせ) (PDF:8KB)
- 2010年2月25日 / 釧路自然環境事務所
知床シンポジウム2開催作業計画について(実施結果)(お知らせ) (PDF:11KB)
- 2010年2月21日 / 釧路自然環境事務所
知床シンポジウム2開催作業計画について(お知らせ) (PDF:11KB)

2007年度

- 2008年3月14日 / 釧路自然環境事務所
平成22年度 第3回知床国立公園利用調整検討会開催の開催及び知床半島先端地区利用の(山車)に係るリリース等の作業について

図 2-6 報道資料掲載ページ

(6) 啓発資料の更新追加および削除

追加更新および削除した啓発資料は以下のとおり。表 2-7 には収録した啓発資料の一覧、表 2-8 には削除した啓発資料の一覧をそれぞれ示した。資料を掲載したページを図 2-7 に示した。

表 2-7 収録した啓発資料一覧

番号	啓発資料名	ジャンル
1	先端部地区利用の心得	ガイドブック
2	知床半島先端部地区に立ち入る方へ「利用の心得」	パンフレット
3	知床岬・知床岳を目指す方へ～フードコンテナがあなたの安全を守ります	チラシ

表 2-8 削除した啓発資料一覧

番号	啓発資料名	ジャンル
1	知床世界自然遺産シンボルマーク(マーク、ポスター、パネル)	シンボルマーク



図 2-7 啓発資料掲載ページ

(7) その他の更新追加・修正など

- ① シンボルマーク資料を掲載するページを新たに追加した。追加したページを図 2-8 に示した。また、ページの追加に伴い、トップページにリンクボタン (図 2-9 の②の位置)、上部メニューバーの「報道資料・啓発資料」のプルダウンメニューに項目 (図 2-9 の①の位置) をそれぞれ追加した。

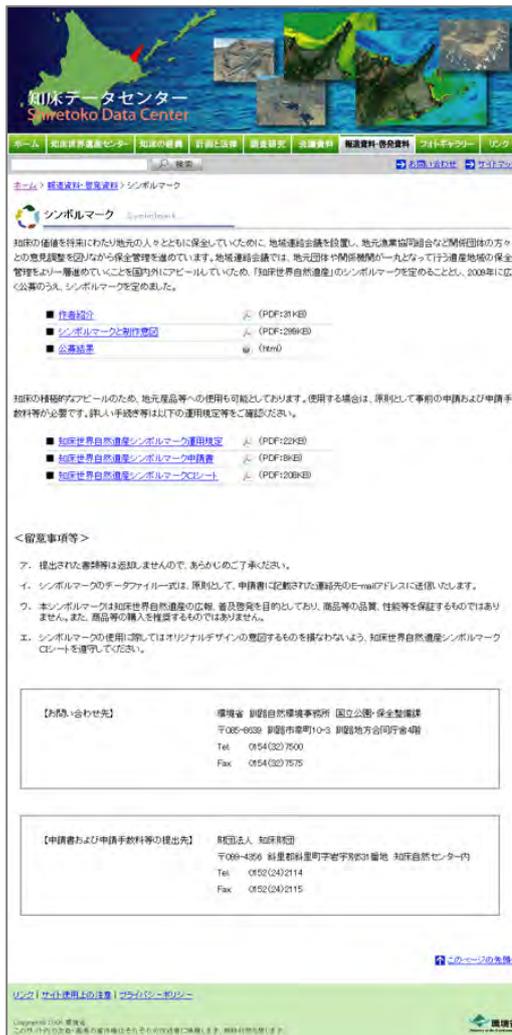


図 2-8 シンボルマーク資料掲載ページ

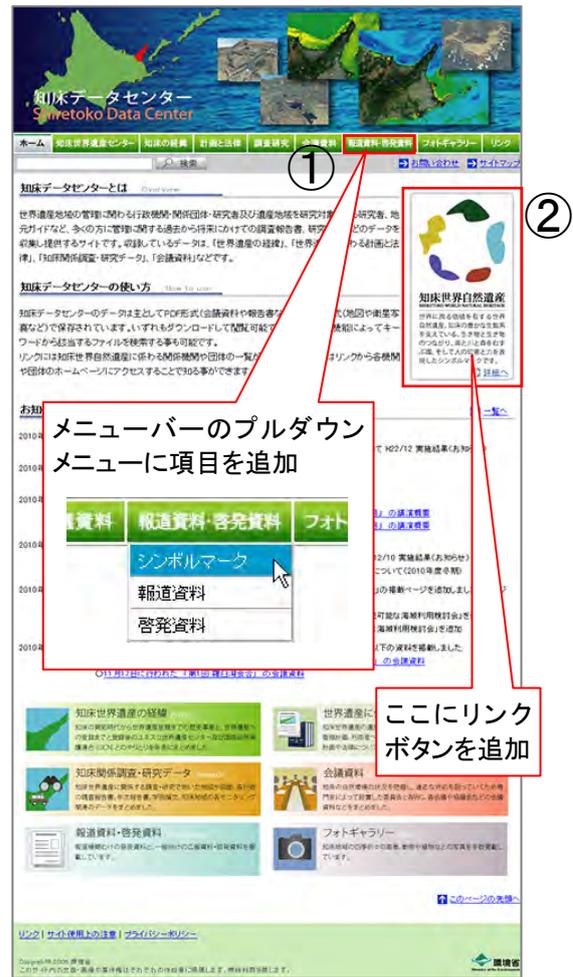


図 2-9 トップページ

② 年次報告書資料を掲載するページを、「調査研究」のカテゴリ内に新たに追加した。追加したページを図 2-10 に示した。



図 2-10 年次報告書資料掲載ページ

③ 会議資料のページに「ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会」の資料を掲載するページを新たに追加した。追加したページを図 2-11 に示した。また、ページの追加に伴い、会議資料のトップページにリンクボタン (図 2-12 の②の位置)、上部メニューバーのプルダウンメニューに項目 (図 2-12 の①の位置)、右メニューバーに項目 (図 2-11) をそれぞれ追加した。



図 2-11 ウトロ海域利用検討会資料掲載ページ

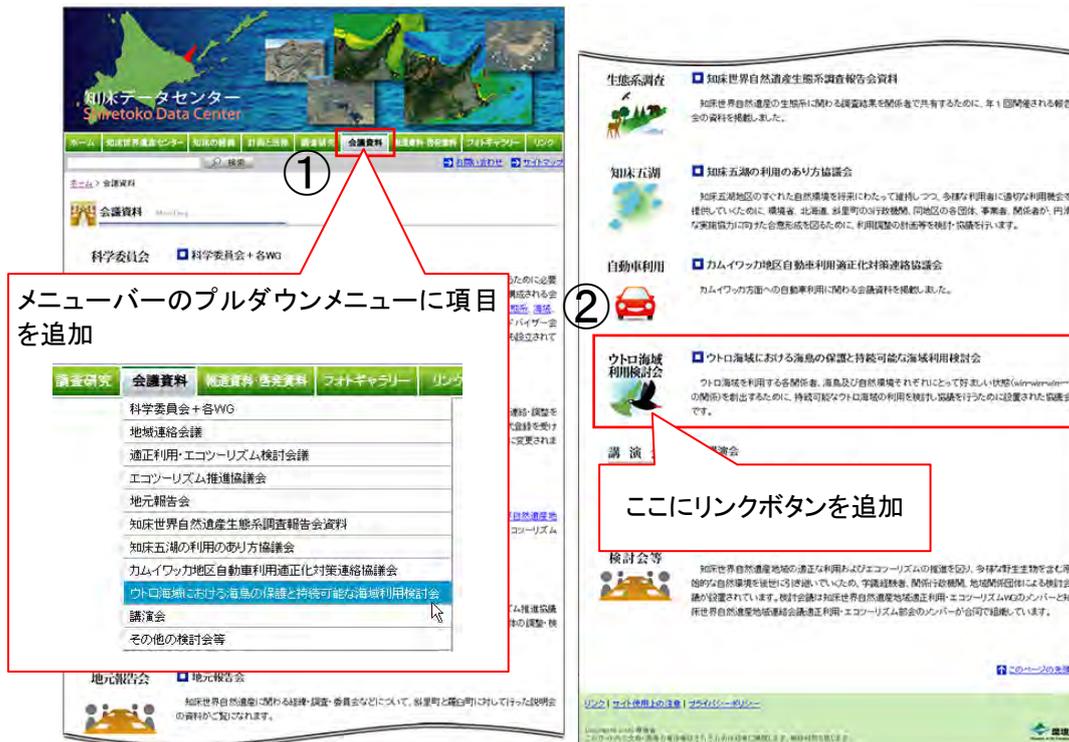


図 2-12 会議資料 TOP ページ

- ④ エゾシカ WG の名称を「エゾシカ・陸上生態系 WG」に変更した。
- ⑤ 遺産地域区域図の区域名称を「核心地域」から「A 地区」、「緩衝地域」から「B 地区」にそれぞれ修正した。修正した資料は「調査研究－地図・図面」ページに収録されている「遺産地域区域図」（図 2-13）、修正したページは「リンク」ページ（図 2-14）である。



図 2-13 遺産地域区域図



図 2-14 リンクページ

2-2 メーリングリストの管理

新たに2つのメーリングリスト（適正利用・エコツーリズム WG、知床アドバイザーネットワーク）を追加し、これまでの4つのメーリングリスト（科学委員会、エゾシカ・陸上生態系 WG、河川工作物 AP、海域 WG）と合わせて、6つのメーリングリストについて以下の管理を行った。

(1) 各委員会のメンバー更新

平成 23 年 3 月現在で、科学委員会、エゾシカ・陸上生態系 WG、河川工作物 AP、海域 WG、適正利用・エコツーリズム WG の 5 つのメーリングリストおよび知床アドバイザーネットワークのメーリングリストにメンバー参加がある。メーリングリストメンバーの追加および削除は、環境省担当者からの連絡・指示でメーリングリスト管理者の EnVision が適時行った。表 2-9 には各メーリングリストに参加している委員数と参加者総数を示した。また、メーリングリストメンバーの追加・削除およびそれに付随するメーリングリストの管理を計 11 回行った。

表 2-9 各委員会・WG の委員数とメーリングリスト加入者数

委員会	委員数	加入者数
科学委員会	12名	97名
エゾシカ・陸上生態系WG	10名	72名
河川工作物AP	5名	68名
海域WG	11名	67名
適正利用・エコツーリズムWG	7名	60名
知床アドバイザーネットワーク	64名	69名

※知床アドバイザーネットワークの委員数は参加している専門家の数を示す